

シェアードサービスの再生と進化

～『異質の知』の活用によってESS (Excellence of Shared Service) に進化させろ!～

●プログラム●

◆日時：2015年9月10日(木) 13:30～16:30

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：アビームコンサルティング 株式会社

プロセス&テクノロジー第2ビジネスユニット 執行役員 澤田 和幸氏

【略歴】

- 1987年 日本ユニシス(株)に入社し、情報システム部でシステム企画を担当。
- 2000年 日本キャップジェミニアーンスト&ヤング(株)にて、グループ経営管理をテーマにシェアードサービスや連結決算早期化等に関し業界を問わず支援。
- 2005年 アビームコンサルティング(株)に入社。
- 2008年 執行役員に就任。

2000年の日本キャップジェミニアーンスト&ヤング時代より、グループ経営管理に関する戦略とITと繋ぐ業務改革系のコンサルティングを業界を問わず、多数実施。特に、総合商社、製造企業、IT企業、精密機械企業、金融業等に対してシェアードサービスに関するコンサルティングサービス等を支援。

アビームコンサルティング(株)ではシェアードサービスのソリューションリーダーとして、社内のナレッジの収集と共有を推進すると共に、導入方法論を『ABeam Method』として確立。

特にシェアードサービス導入企業に対する詳細なリサーチを2005年から2度実施し、『日本型シェアードサービスの成功要因～導入企業のベンチマーク分析～』、『日本型シェアードサービスの再生と進化』を発刊した。

『先進事例からみる決算早期化の成功要因』『「失敗しない」シェアードサービスの導入』、『日本型シェアードサービスの成功の法則』など講演及び雑誌への投稿など多数あり。日本国内ではシェアードサービスに関しては第一人者である。主な書籍は、『グループ経営戦略と管理』（一般社団法人企業研究会）

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会
担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp
〒102-0083
東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F
TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

151428-0103		※2015.9.10 シェアードサービスの再生と進化	
会社名			
住所		〒	
TEL		FAX	
部課 役職		フリガナ お名前 前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前 前	
e-mail			

シェアードサービスの再生と進化

～『異質の知』の活用によってESS(Excellence of Shared Service)に進化させろ！～

【開催主旨】

グループ連結経営やコア事業への経営資源の集中化を推進する上で、近年さらにシェアードサービスの導入企業が増加しています。シェアードサービスは、コンセプトは理解しやすく、多くの日本企業にも浸透していますが、導入したものの効果を引き出せていない企業も少なくありません。日本企業に求められているのは、グローバルで勝てる間接部門をつくることであり、最適なグループ経営を推進する上でも、効果的なシェアードサービスに再生/進化させることをご提案します。

アビームコンサルティングは2005年と2013年にシェアードサービスを導入している企業に対し、日本企業におけるシェアードサービスがどのような実態にあるかを浮き彫りにするためにリサーチを実施しました。その結果を踏まえて、シェアードサービス導入企業が直面する課題とその課題を乗り越える為に実施した施策についてご説明させていただきます。

また、目指すべき、シェアードサービスの将来像であるESS(Excellence of Shared Service)の概念を明示します。そのあるべき将来像に向けて現状のSSCを進化させるためには、『異質の知』が有効であると考えます。『異質の知』を具体的に活用して、どのようなアプローチで現状のSSCをESSへ進化させるのかについて最後にお話をさせていただきます。

グループ経営、経営企画部門をはじめ、SSCの推進、運営部門、経理、人事、情報システム部門の方々をお誘い合わせの上、多数、ご参加下さい。

1. シェアードサービスの定義と一般的な効果
2. 今、何故、シェアードサービスなのか
3. シェアードサービスの現状 ～リサーチ結果より
4. 『異質の知』との融合によるSSCの再生と進化
5. 目指すべきESS(Excellence of Shared Service)とは
6. 現在のSSCをESSに進化させるためには